

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

大学生という大切な時間において大きく成長させてもらいます。聖書には「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」とあります。本学ではこの「神があなたがたに望んでおられること」を体現することができるのであります。

【2025年の新作ヒンメリが飾られました】

循環農学類食物利用学研究室の宮崎早花先生とゼミ生たちの活動の一環として、今年もクリスマスを彩るヒンメリが黒澤記念講堂ロビーに飾られました。



今年のコンセプトは「雪」です。デザインコンセプトはヒンメリ作家の山本尚史先生のご提案です。材料の提供は、循環農学類の義平大樹先生（ライ麦）と中辻浩喜先生（羊毛）です。

2025年度 ヒンメリデザインコンセプト
「雪-Snow」
原生林の冬は 雪の白と針葉樹の深い緑が
景色をモノクロームに変えてしまします
薄明るい森に差し込んだ光の筋に枝から
風に舞った雪が サラサラキラキラ輝いています
(デザインコンセプト 山本尚史 撮影)

【聖歌隊で一緒に歌いましょう】

大学礼拝では学生・教職員の有志による聖歌隊が合唱をします。クリスマスの讃美の練習もしています。積極的なご参加をお待ちしています。

【次回の大学礼拝（クリスマス礼拝）】2025年12月23日（火）10時40分

次回はクリスマス礼拝です。各所のアドヴェント・リース、講堂壇上のクリスマス・ツリー、講堂ロビーのヒンメリが少しずつクリスマスの雰囲気を醸し出しています。今年は室内楽団と吹奏楽団による演奏もあります。4年振りの対面でのクリスマス礼拝です。キリスト教主義大学で自分自身の内面に向き合いつつ、平和を願うクリスマスを迎えてください。

【前回の大学礼拝】2025年12月2日（火）

学生：19名 教職員ほか：7名 合計：26名

【大学礼拝週報】2025年度 第28号（後学期第13号）

2025年12月16日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

【アドヴェント（待降節）第3週礼拝】 《礼 拝 順 序》

司 式 小林昭博（宗教主任）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教授）

前 奏 いざ来ませ、異邦人の救い主よ（J.S.バッハ作曲）

讃 美 歌 讃美歌 461番（主われを愛す）

聖 書 テサロニケの信徒への手紙一 5章 16-18節

祈 り

酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「喜び、祈り、感謝する—酪農学園大学で学べること」

祈 り 宮庄 拓（獣医保健看護学類動物生命科学ユニット准教授）

讃 美 歌 讃美歌 320番（主よ、みもとに近づかん）

報 告

後 奏 神のみ子は來たりたもう（ペツツォールト作曲）

【本日の聖書】テサロニケの信徒への手紙一 5章 16-18節（新共同訳）

16 いつも喜んでいなさい。 17 絶えず祈りなさい。 18 どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

【奨励】「喜び、祈り、感謝する—酪農学園大学で学べること」

本学はキリスト教主義の大学です。私自身、本学で学び、本学で教鞭を執っているからこそ、皆さんに伝えることができる「酪農学園大学で学べる大切なこと」があります。本学は自然や動物たちから多くのことを学び、